

令和7年度漂着ごみ組成調査について

本県の代表的な海岸（岩瀬浜）において、令和2年度から継続的に実施している漂着ごみに関する組成調査を行った。概要は表1のとおり。

表1 漂着ごみ組成調査概要

調査地点	岩瀬浜（富山県富山市岩瀬古志町）
調査方法	「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和5年6月 第3版環境省）」（以下「ガイドライン」という。）に従い、組成調査を行った。
調査日	平常時に実施。 令和7年10月20日（区画保全期間：令和7年9月16日～令和7年10月20日）

調査結果

（1）漂着物の組成割合

- ・漂着ごみの割合として、個数では人工物が9割以上を占め、そのほとんどがプラスチックであった。容量と重量では自然物が多かった。（図1、表2）

（2）漂着量の多い人工物の品目

- ・個数では「ボトルのキャップ、ふた」及び「ロープ・ひも（漁具）」の割合が約35%を占めた。（図2）
- ・容積及び重量では「硬質プラスチック破片」、「発泡スチロールの破片」等の破片類が多く占めていた。
- ・プラスチック類の言語表記では、確認された範囲では全て日本語表記のもの（ペットボトルキャップ等）だった。

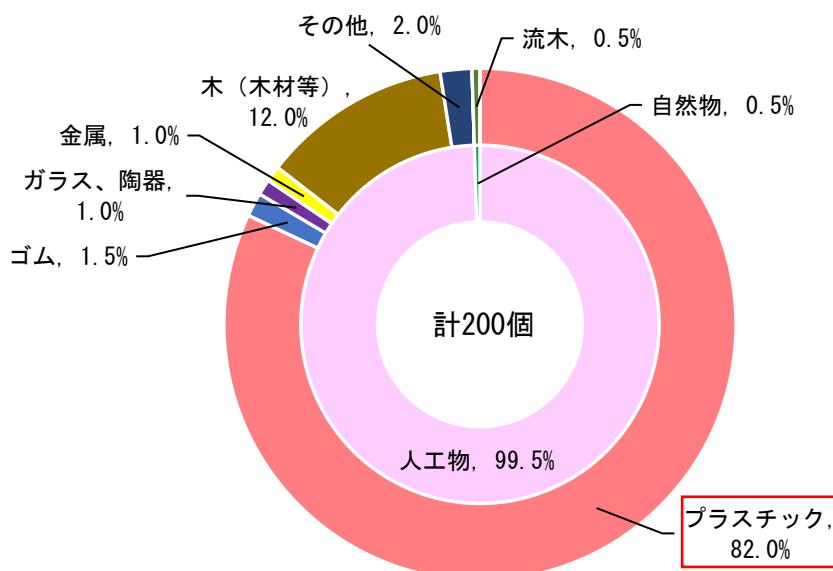


図1 漂着ごみ分類比率（個数ベース・自然物含む）

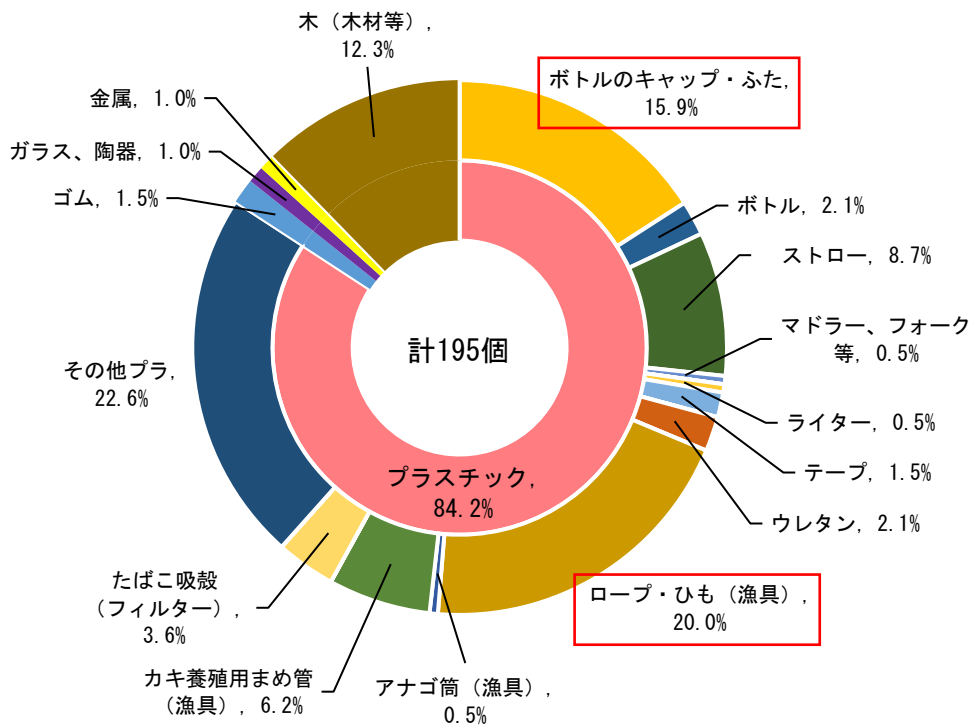


図2 人工物の分類比率 (個数ベース・自然物、その他除く)

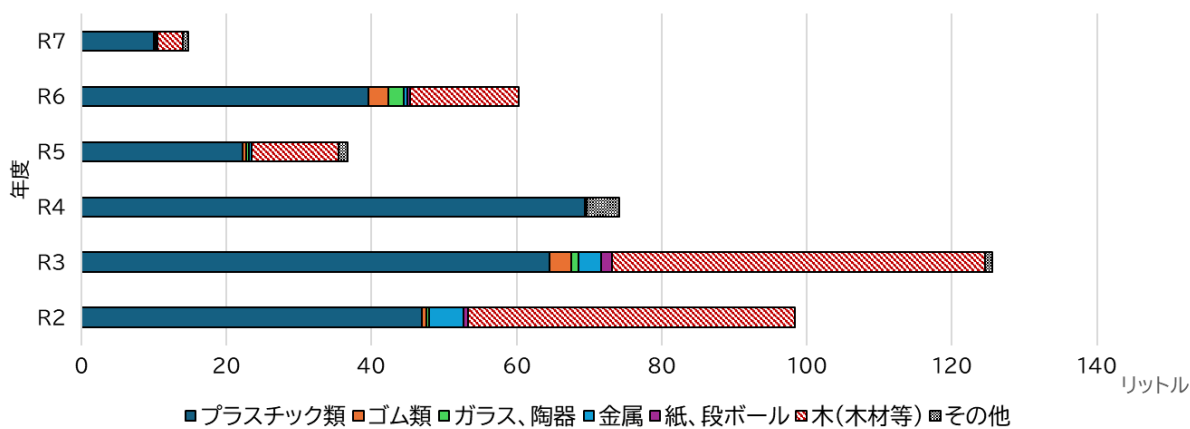


図3 各人工漂着物の分類別容積の推移 (R2~R7)

(3) 調査写真



調査区画



ロープ (漁具)



ボトルのキャップ・ふた



硬質プラスチック破片



発泡スチロールの破片



木材

表2 岩瀬浜での人工物と自然物の漂着量の推移

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
個数 (個)	人工物	413	826	239	510	316	199
	自然物	400	51	1	14	2	1
	合計	813	877	240	524	318	200
容量 (L)	人工物	98.2	125.7	74.1	36.7	60.3	14.9
	自然物	840.0	2,688.0	436.7	720.0	1,120.0	320.0
	合計	938.2	2,813.7	510.8	756.7	1,180.3	334.9
重量 (kg)	人工物	13.0	13.7	2.2	8.6	7.0	2.5
	自然物	125.7	128.0	32.1	112.0	201.4	59.9
	合計	138.7	141.7	34.3	120.6	208.4	62.4

表3 岩瀬浜での漂着量の多い人工物の品目の推移（上位5品目）

集計	順位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
個数	1	ロープ、ひも (漁具)	ボトルのキャ ップ・ふた	食品容器包装	ボトルのキャ ップ・ふた	ロープ、ひも (漁具)	プラスチック その他
	2	テープ	プラスチック その他	漁網(漁具)	ロープ、ひも (漁具)	ボトルのキャ ップ・ふた	ロープ、ひも (漁具)
	3	ボトルのキャ ップ・ふた	食器容器 (発泡スチロール)	ロープ、ひも (漁具)	たばこ吸殻 (フィルター)	ストロー	ボトルのキャ ップ・ふた
	4	たばこ吸殻 (フィルター)	たばこ吸殻 (フィルター)	ボトルのキャ ップ・ふた	生活雑貨 (歯ブラシ等)	テープ	木材(木炭等 含む)
	5	コップ、食器	木材(木炭等 含む)	ストロー	木材(木炭等 含む)	木材(木炭等 含む)	ストロー